様式第３９号（その１）

非常電源設備標準仕様書

１．　非常電源設備の種別

□　非常電源専用受電設備　　□　自家発電設備

□　蓄電池設備　　□　燃料電池設備

２．非常電源回路

□　非常電源回路の配線は、耐火配線とする。

□　非常電源回路は、他の電気回路の開閉器又は遮断器によって遮断されないものとする。

□　非常電源回路には、地絡により遮断する装置を設けないものとする。

□　非常電源回路に使用する開閉器、過電流保護器その他の配線機器は、耐熱効果のある方法で保護する。

□　「配電盤及び分電盤の基準」に適合する配電盤又は分電盤内に設ける。

□　JIS C 8480（分電盤通則）に適合する分電盤内に設ける。

□　その他（　　）

□　非常電源回路に使用する開閉器には、（　　）設備用のものである旨を表示する。

３．耐火配線の施工

(1)　電線の種類等

種類 / 区分	耐火電線又はMIケーブル	耐熱電線	HIV又はこれと同等のもの
認定番号			
型式			
導体サイズ			
表示記号			
製造者名			

(2)　工事の方法（施工業者　　）

□ 金属管工事	□ 可とう電線管工事（２種金属製）	
□ 合成樹脂管工事	□ ダクト工事	□ ケーブル工事

□　耐火構造の壁、床等に（　　）㎜埋設する。

□　耐火性能を有する（□パイプシャフト　□ピット）の区画内に布設する。

□　厚さ（　　）㎜の（□グラスウール　□ロックウール　□けいそう土　□モルタル）で被覆保護する。

４．配電盤及び分電盤

種　　別	□ 専用配電盤　□ 共用配電盤 □ 専用分電盤　□ 共用分電盤		
認定の区分	□ 認定品（認定番号　　） □ 第１種　□ 第２種 □ JIS 規格品（JIS C 8480）		
形 式 区 分	□ 露出式（T）　□ 埋込式（G）　□ 埋込式（H）		
製 造 者 名		製 造 番 号	

□　耐火構造の壁及び床で区画され、かつ、窓及び出入口に防火戸が設けられた電気室に設ける。

□　不燃材料で区画され、かつ、窓及び出入口に防火戸が設けられた専用室に設ける。

□　不燃材料で区画された（□変電設備室　□機械室　□ポンプ室）に設ける。

□　耐火構造のパイプシャフト内に設ける。

□　屋外又は主要構造部を耐火構造とした建築物の屋上に設ける。

５．非常電源設備の設置場所

□　不燃材料で区画され、かつ、窓及び出入口に防火戸が設けられた（　　）階の専用室に設ける。

□　不燃材料で区画された（　　）階の（□変電設備室　□発電設備室　□機械室　□ポンプ室）に設ける。

□　屋外又は主要構造部を耐火構造とした建築物の屋上に設ける。

６．非常電源専用受電設備

非常電源専用受電設備仕様

受　電　方　式	□ 高圧受電方式　　□ 低圧受電方式 □ 特別高圧受電方式	
	形　式　区　分	□ 専用キュービクル □ 共用キュービクル
キュービクル式	受電用主遮断装置による区分	□ CB形　　□ PF･S形 □ PF･CB形
□　屋　外　用 □　屋　内　用	認　定　番　号	
	最大設備容量	KVA
	製　造　者　名	
	製　　造　　年	
	製　造　番　号	
キュービクル式以外	施　工　業　者	

備考　受電設備単線結線図を添付する。

非常電源専用受電設備の保有距離

保有距離を必要とする部分		保　有　距　離
配電盤及び分電盤	操作を行う面	m
	点検を行う面	m
	換気口を有する面	m
変圧器及びコンデンサ	点検を行う面	m
	その他の面	m
キュービクル式の周囲	操作を行う面	m
	点検を行う面	m
	換気口を有する面	m
キュービクル式とこれ以外の変電設備、発電設備及び蓄電池設備の間		m

様式第３９号（その４）

７．自家発電設備

自家発電装置仕様

型　　式		認定番号	
製造者名		製　造　年	
形式区分	□ 長時間形（W）　□ 即時長時間形（Y） □ 普通形一（U）　□ 即時普通形（X）		
構造区分	□ オープン式（S）　□ エンクロージャ式 □ 屋内用キュービクル式（R） □ 屋外用キュービクル式（O）		
原動機区分	□ ガソリン機関（G）　□ ディーゼル機関（D） □ ガスタービン（T）		
始動方式	□ 電気始動式　□ 空気始動式 □ 油圧始動式		
負荷の名称及び容量			

備考　自家発電設備容量計算書を添付する。

原動機仕様

型　　式		認定番号	
定格出力	PS	製造者名	
定格回転数	rpm	冷却方式	□ 水冷式 □ 空冷式
総排気量	cc		
燃料の種類		燃焼方式	□ 渦流室式 □ 予燃焼室式 □ 直接噴射式
燃料タンクの容量	ℓ		
燃料消費量	ℓ／H		

発電機仕様

型　　式		認定番号	
定格電圧	V	製造者名	
定格電流	A	容　　量	KVA
周波数		極　　数	P

様式第３９号（その５）

制御装置仕様書

型　　式		認 定 番 号	
制 御 電 圧	V	製 造 者 名	

始動装置仕様

始 動 用 蓄電池設備	充電装置	型　　式	
		認 定 番 号	
		定 格 入 力	相　　V
		定 格 出 力	V　　A
		充 電 方 式	
		製 造 者 名	
	蓄 電 池	種　　類	
		形　　式	□ ベンド形　□ シール形
		型 式 記 号	
		容量（セル数）	AH（　　）
		製 造 者 名	
空気始動装置	空 気 層	容 器 の 種 類	
		容量及び本数	ℓ　　本
		常 用 圧 力	MPa
		安全弁動作圧力	MPa
		圧力降下警報用の設定圧力	MPa
		自動充気装置用の設定圧力	MPa
		製 造 者 名	
	空気圧縮機	型　　式	
		駆 動 方 式	
		定 格 出 力	kw
		容　　量	m^3／hr
		圧　　力	MPa
		製 造 者 名	

備考１　自家発電設備の始動装置として、始動用電源装置を設ける場合は、「蓄電池設備」の項に記入する。

２　空気層の容器の検定書（写）を添付する

様式第３９号（その６）

自家発電設備の保有距離

保有距離を必要とする部分			保有距離
キュービクル式の周囲	操作を行う面		m
	点検を行う面		m
	換気口を有する面		m
キュービクル式とこれ以外の変電設備及び蓄電池設備の間			m
キュービクル式以外	発電機と原動機の相互間		m
	発電機本体の周囲		m
	燃料タンクと原動機の相互間		m
	操作盤	操作を行う面	m
		点検を行う面	m
		換気口を有する面	m

様式第３９号（その７）

８．蓄 電 池 設 備

蓄電池設備仕様書

<table>
<tr><td>用 途 区 分</td><td colspan="3">□ 直流電源装置　□ 逆変換装置　□ 始動用電源装置</td></tr>
<tr><td>構 造 区 分</td><td colspan="3">□ キュービクル式　□ オープン式</td></tr>
<tr><td rowspan="6">仕 様 区 分</td><td>型式記号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>認定番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>定格出力</td><td colspan="2">□ AC　□ DC　　V　　A</td></tr>
<tr><td>容　　量</td><td colspan="2">AH</td></tr>
<tr><td>製造者名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>製 造 年</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="13">構 造 区 分</td><td rowspan="7">充電装置</td><td>型 式 記 号</td><td></td></tr>
<tr><td>定 格 入 力</td><td>φ　　V</td></tr>
<tr><td>定 格 出 力</td><td>A　　V</td></tr>
<tr><td>充 電 方 式</td><td></td></tr>
<tr><td>整 流 方 式</td><td></td></tr>
<tr><td>冷 却 方 式</td><td></td></tr>
<tr><td>製 造 者 名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">蓄 電 池</td><td>種　　類</td><td></td></tr>
<tr><td>形　　式</td><td>□ ベンド形　□ シール形</td></tr>
<tr><td>形 式 記 号</td><td></td></tr>
<tr><td>認 定 番 号</td><td></td></tr>
<tr><td>容量（セル数）</td><td>AH　（　　）</td></tr>
<tr><td>製 造 者 名</td><td></td></tr>
<tr><td>負荷の名称及び容量</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考１　蓄電池容量計算書を添付する。

２　蓄電池の充電回路は、専用回路とする。

３　自家発電設備の始動用の蓄電池設備には、「自家発始動用」と名称銘板により表示する。

４　屋外用のものにあっては、「屋外用」と表示する。

５　オープン式のものにあっては、不燃材料で区画され、かつ、窓及び出入口に甲種防火戸又は乙種防火戸が設けられた専用室に設ける。

蓄電池設備の保有距離

保有距離を必要とする部分			保有距離
キュービクル式の周囲		操作を行う面	m
		点検を行う面	m
		換気口を有する面	m
キュービクル式とこれ以外の変電設備及び発電設備の間			m
キュービクル式以外	充電装置	操作を行う面	m
		点検を行う面	m
		換気口を有する面	m
	蓄電池	点検を行う面	m
		列の相互間	m
		その他の面	m

９．添　付　図　書

□　受電設備単線結線図　　□　非常電源回路系統図

□　非常電源設備機器図　　□　設置場所詳細図

□　非常電源容量計算書